

家庭学習の手引き 北条小学校 5・6年

5・6年生はこんな時期

- 一人前に接してもらっているか、大切にされているかなど、大人の評価が気になります。
- 自分を客観的に見つめたり、友達と自分を比べたりようになります。
- 考える力も大人並みになり、時には、大人への反抗も見られます。
- 心も体も急激に変化します。心と体のバランスがくずれ、不安定になることもあります。
- 得意な教科と苦手な教科を意識し始めます。
- 先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味、関心が大きく左右されます。
- 小学校の学習のまとめをして、中学校へつなげる大切な学年です。

◇見守って 伸ばす 高学年◇

学校の主な学習内容

- 家庭科の学習が始まります。
- 外国語を行います。(週2時間)
- どの教科も学習内容が多くなります。
- 新出漢字は、5年生193字、6年生191字です。
- 筋道を立てて考える論理的な思考や、抽象的なものの見方が求められるようになります。
- 自分で課題を見つけ、解決していくことのおもしろさを経験させ「学び方」や「ものの考え方」を育てます。

家庭学習 こんな内容・方法で

- | | |
|-------|---|
| 国語 音読 | <ul style="list-style-type: none"> 気持ちを込めて読むなど、自分のめあてを決めて練習するようにしましょう。 詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読しましょう。 重要な用語や内容を理解するために、他教科の教科書も音読しましょう。 |
| 漢字 | <ul style="list-style-type: none"> 漢字の構成や字形を意識して、丁寧に練習する習慣をつけましょう。 |
| 日記 | <ul style="list-style-type: none"> 習った漢字を使って書くようにしましょう。 |
| 算数 計算 | <ul style="list-style-type: none"> よく間違える計算は、繰り返し練習しましょう。 問題を解いたら、自分で答えを確かめ、間違いを直すようにしましょう。 定規やコンパスを使って正確な図形がかけられるようにしましょう。 問題文を声に出して読み、「わかっていること」「聞かれていること」を正確に読み取るようにしましょう。 問題の内容を簡単な図に表してから、式を立てる習慣を作りましょう。 |
| 家庭科 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭科で学習したことを、家庭生活の中で実践しましょう。 学んだことを生かし、家事の分担を考えましょう。 |



自主学習にもチャレンジ

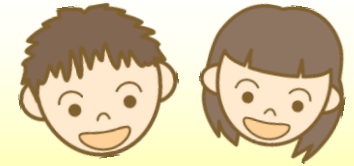
◇学習への意欲を高め、自ら課題を見つけて学ぶ習慣づくり

- その日に学習したことをノートに工夫してまとめてみる。
- 学校で学習した内容で、もっと知りたいことなどを、資料などを使って調べて自分なりにノートにまとめてみる。
- 翌日の授業内容の予習をする。
- リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習をする。 など

◇自主学習のすすめを参考にする

家庭学習の意義

- 1 学校で学習した内容をより確かにします。
- 2 家庭での学習習慣が身につきます。
- 3 自ら学ぼうとする態度や学習に対する自信が身につきます。
- 4 脳が活性化し、鍛えられます。
- 5 がまん強さ・根気・集中力が身につきます。
- 6 家族がふれあう機会となり、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。



規則正しい生活習慣

「学力」の向上には「体力」が必要です。

- 1 「早寝・早起き・朝ご飯」の支援をお願いします。
- 2 毎日、少しずつでも運動ができるよう声かけをお願いします。
- 3 テレビやゲームの時間を話し合って決めましょう。

宿題

学校での学習をふり返りながら、教科書やノートを参考にして、苦手な教科も粘り強く取り組めるように、アドバイスしましょう。

子どもの話をよく聞き、成長を温かく見守ることで、将来の夢や目標をもって努力するようになります。

自主学習

国・算・理・社・家庭科・音楽・総合…。自主学習の素材は、満載です。まずは、好きな学習・得意な学習から始め、毎日取り組めるようアドバイスしましょう。

読書

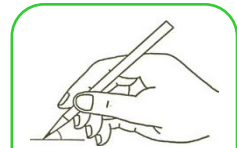
家族で感想を語り合い、共に心を通わすことのできる関係を築きましょう。

家庭学習の習慣化づくりのポイント

家庭学習を始める前に

- 学校からの連絡やお便りを保護者に手渡す習慣をつけさせましょう。
- 今日の宿題と明日の学習準備を自分で確かめさせましょう。

- 1 決まった時刻に学習する。
 - 2 集中して学習する。(時間のめやす 60分以上)
 - 3 家庭学習をしているときは、テレビを消す。
 - 4 整頓された場所で、よい姿勢で学習する。
 - 5 日記を書く。
 - 6 前日に学校へ行く準備をする。(鉛筆をけずる。・連絡帳を見て持ち物の用意をする。)
- ※ 宿題以外の学習にも挑戦させましょう。
※ 毎日、連絡帳と「音読カード」にサインをお願いします。



鉛筆の正しい持ち方

正しく持つことで、字を書くスピードや持続力がぐんと伸びます。高学年でも、直す努力をさせましょう。